



夏色

おのまち夏まつりが8月15日に開催されました。「金魚すくい」では色とりどりのゆかたを着た子どもたちが一匹でも多くの金魚をすくおうとしていました。

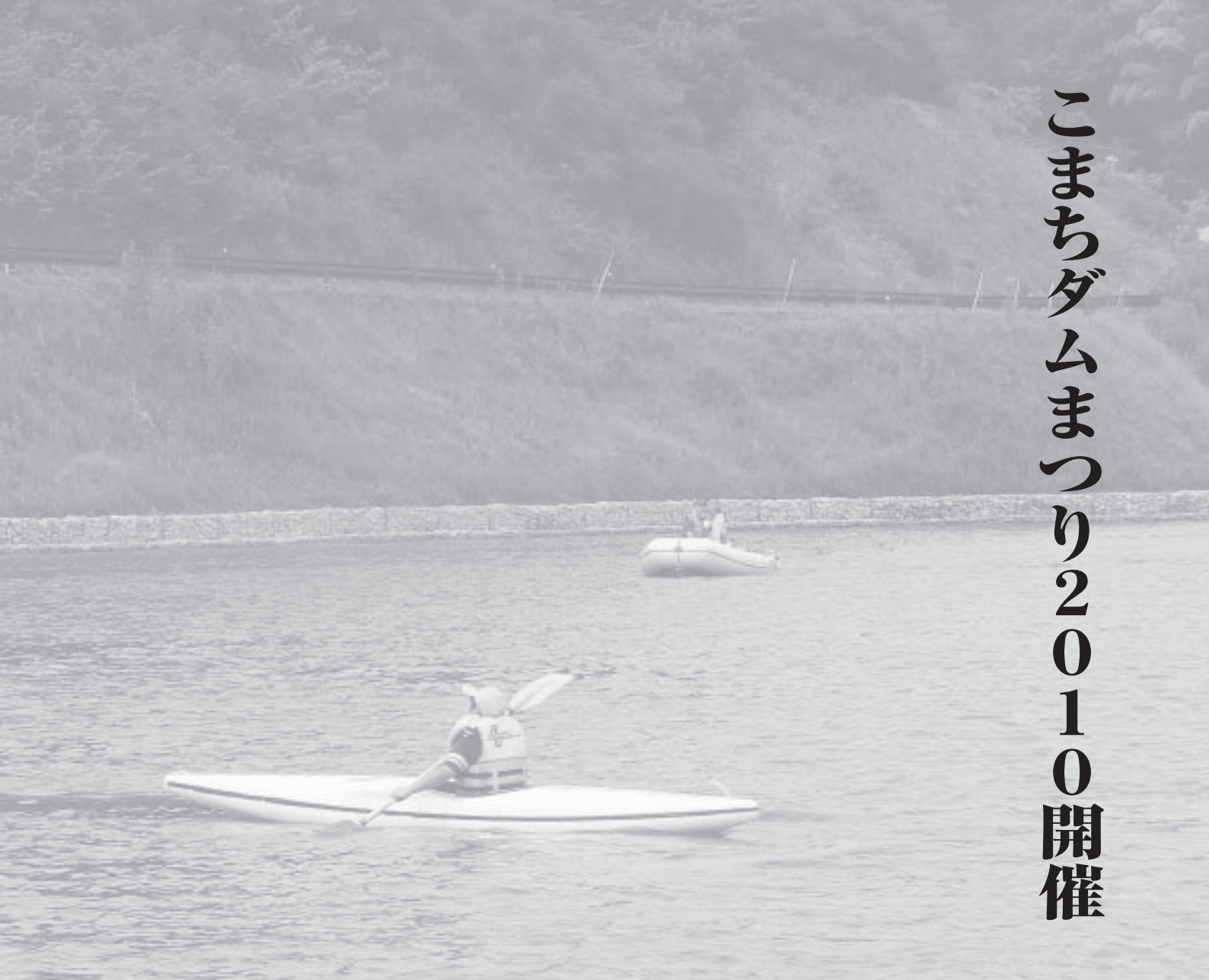
笑顔とがんばりの町

広報 **おのまち**

平成22年
No.571

9

こまちダムまつり2010開催



こまちダムまつり実行委員会主催のこまちダムまつりが7月31日に開催されました。

こまちダムまつり実行委員会は、森と湖に親しみ、森林やダムなどの重要性について理解を深めてもらおうと、町や県、菖蒲谷・雁股田行政区、夏井川漁業協同組合小野滝根支部、小野町建業会などで組織されたものです。

会場では、普段見ることのできないダム管理棟内やダム本体の中にある監査廊などのダム施設、そしてこまち浄水場施設の見学会、ダム建設時の発掘調査における遺跡の展示会、勾玉作り体験教室、公立小野町地方総合病院看護師による血圧測定や健康相談、また地元の新鮮野菜やニジマスの塩焼きなどの販売が行われました。

こまち湖では、ダム巡視艇「こまち号」による巡視体験や小野海洋クラブによるカヌーやヨットの実演体験が行われました。

このほか、町内の舞踊団体の皆さんが、こまちダム賛歌に合わせて振り付けた「こまちダム踊り」を披露し、会場を盛り上げました。

当日は、天候に恵まれ、親子連れや夏休み中の子どもたちなど町内外から約500人が訪れ、こまちダムでのイベントを満喫していました。





小野海洋クラブ 「OPヨット・カヌー体験会」

小野町では、平成20年度に、ダム水面の有効活用を図るため、小野海洋クラブを設立しました。

同クラブは、こまちダムを拠点に、カヌーやヨット、水辺での自然体験活動を通して、青少年の健全育成に取り組んでおり、海洋性レクリエーション指導会を中心に6月から10月まで活動しています。

● 配備器材

カヌー8艇・ペアーカヌー6艇・
OPヨット4艇・シーホッパー
(ヨット)2艇・救助艇1艇

公民体育館

721-2518



全国大会出場おめでとうございます

第18回すこやかねりんピックが5月20日、福島市で開催され、グラウンドゴルフ競技において吉田薫さん(塩庭一区)が男子の部第2位、村上ひで子さん(小野赤沼)が女子の部優勝という素晴らしい成績を挙げ、10月に石川県で開催される第23回全国健康福祉祭いしかわ大会に福島県代表として参加することになりました。

お二人のご活躍をお祈りします。



左から吉田さん、村上さん

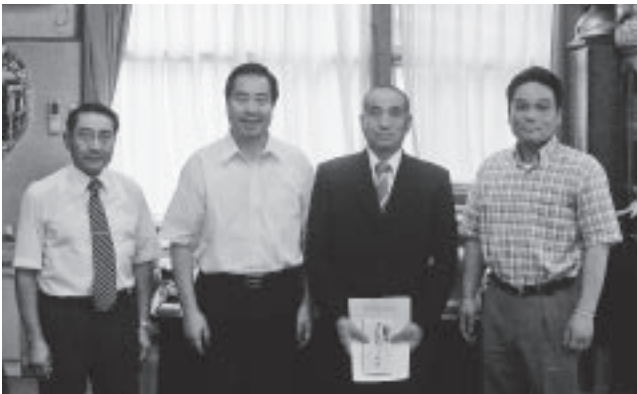
根本一男さん 認定農業者に

7月16日、根本一男さん(吉野辺)に対し、農業経営改善計画認定書が交付されました。

この農業経営改善計画には、農業経営のプロを目指す農業者の5年先を見据えた経営改善計画が掲げられており、町が一定の基準のもと認定し、各種農業関係機関や農業委員会がともに支援するものです。

なお、今回の計画には、経産牛1頭当たりの乳量増を目標とした牛群づくりなどについての経営計画が盛り込まれています。

兼業農家が多くを占め、農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化する中で、やる気と能力のある農業者の先駆者として、根本さんの活躍を期待します。



根本さん(右から2番目)

第25回B&Gスポーツ大会福島県大会

第25回B&Gスポーツ大会福島県大会が7月25日、塙町B&G海洋センターにおいて開催され、県内のB&G施設がある市町村のチームが参加しました。

小野町からは剣道スポーツ少年団と水泳スポーツ少年団が出場し、熱戦を繰り広げた結果、水泳の部、剣道の部でそれぞれ4位になりました。



水泳スポーツ少年団(後列)、剣道スポーツ少年団(前列)の皆さん

新エネルギー施設親子見学会を実施

新エネルギー施設親子見学会が8月7日に実施されました。

これは、親子で環境問題や新エネルギーについて理解を深めてもらうことを目的に東北電力株式会社との協力も町が主催した見学会で、小学生とその保護者20人が参加しました。

参加者は、柳津西山地熱発電所(柳津町)と第二沼沢発電所(金山町)を見学し、地熱や水力を利用した自然エネルギーによる発電の仕組みや環境問題について理解を深めていました。



見学会の様子



少年水泳教室・親子水泳教室を開催

小学3年から6年生を対象にした少年水泳教室が7月12日から16日までの5日間、B&G海洋センタープールにおいて開催されました。

教室に参加した34人の児童は、初級、中級、上級コースに分かれ、一生懸命練習をしました。

最終日には水の事故防止の講習会と成果発表が行われ、児童は5日間の練習の成果を精一杯発揮しました。



少年水泳教室の様子



親子水泳教室の様子

親子水泳教室が8月2日から6日までの5日間、B&G海洋センタープールにおいて開催されました。

教室には10組20人が参加し、子どもの部、親の部に分かれて水泳の基本を学びました。

最終日には成果発表が行われ、5日間の練習の成果を披露しました。

野菜パワー



夏井おおすぎ保育園

今年は毎日猛暑が続きましたが、夏バテぎみの大人をよそに、いつも元気いっぱいの子どもたちでした。暑さで食欲も落ちてしまいがちでしたが、おいしい給食を毎日残さず食べて、暑い夏を乗り切ることができました。

子どもたちの、食欲が落ちないのには、もう一つ理由がありました。それは、地域の方々の協力を得て行った野菜作りです。ゴーヤ・インゲン・パプリーフを育て、それを収穫し食べました。年長さんは、毎日の水やりを楽しみながら、食べられるようになるのを待っていました。



野菜に親しみ、興味をもつことで、苦手としていた野菜が抵抗なく食べられるようになりました。「ちょっと苦いね」「甘くておいしいね」などの声も聞かれました。

また、暑さをしのぐためのグリーンカーテンにもなり、エコにも役立っていました。地域の方々にご協力いただき、子どもたちは貴重な体験をすることができ、食の大切さを実感しました。ご協力ありがとうございました。

これからも食育を通し、心も体も豊かに健やかに育ててほしいと願っています。

第18回「サマーキャンプ」中学生の翼「帰国報告」

引率を終えて

団長(小野中学校校長)

根本 保男

参加生徒17人、引率職員3人で「2010サマーキャンプ」中学生の翼を実施してまいりました。昨年度は新型インフルエンザの影響から中止になってしまい、多くの生徒が残念がっていました。今年度は昨年度の方まで、団員一人ひとりの期待や思い、意気込みも大きかったように感じました。生徒たちは初めてのアメリカ渡航に向け、パスポートの大切さや申請手続き、空港での出入国手続、基本的な英会話などを事前に研修しました。そして、団員それぞれが自分で出入国手続を無事に済ませた。初めてのフライトとなりました。きっと、心に残るフライトとなったことと思います。



左からスラゴ議長、根本団長、カレン町長



ヒルトップキャンプ場にて

アメリカ滞在中に団員たちは、ホームステイをしながらグリーンロック町内研修、ニューヨーク市内研修、またヒルトップキャンプ場でのキャンプ研修などを実施してきました。アメリカ滞在中の活動や研修は、どれも貴重な体験でしたが、中でもホームステイは団員にとって忘れられない体験であり、大きな思い出となったようです。



自由の女神と一緒に



ホストファミリーと

小野町とグリーンロック町との交流事業は、今年で18回目となりました。私は、今回団長として参加させていただき、特にグリーンロック町の受け入れ体制は本当に素晴らしい、この18回目という積み重ねの大きさをしみじみ感じてきました。小野町の本事業は、町の中学生にとって大変有意義な事業であると実感しております。



ホストファミリーと

私は中学生の翼に参加してアメリカの生活を体験し、またホストファミリーと本当の家族のように過ごすことができました。ホームステイ中は、日本の文化の紹介として、書道、折り紙と一緒にやることができました。キャンプでは団員の仲間と、初めての土地で協力しながら生活し、乗馬や力ヌーなど不安な中でも楽しい貴重な体験をすることができました。

私はアメリカに行って、言葉や文化は違っても、人は通じ合えるという喜びを学びました。お世話になったホストファミリーの皆さん、引率してくださった方々、そして参加させてくれた家族に感謝します。ありがとうございました。

佐藤 佳子

小野中学校2年



ホストファミリーと(左)

西田 詩織

小野中学校2年

私は今回のサマーキャンプを通して、自分の世界を見る目が広くなったと思います。

ホームステイでは、英語が伝わりとすくすくうれしく、一生懸命相手に伝える気持ちが大切だということ学びました。家族と過ごす時間はとても楽しく、別れるときはさみしかったです。

キャンプでは、日本ではあまり経験できないことに挑戦しました。そして、日本とアメリカのキャンプのやり方が違うことが分かりました。

今回のサマーキャンプでは、楽しかったこと、つらかったことなど自分の一生に残る思い出がたくさんできました。今回の経験をこれからの自分に生かしていきたいです。

吉田 優香

小野中学校2年

サマーキャンプ団員として、アメリカへ渡る前日は、緊張とうれしさでなかなか眠れませんでした。きつとほかの団員も、そうだったのだと思います。飛行機の中では、13時間を過ごしました。

アメリカに着いて、ホストファミリーと会い、ファミリーの優しさに、今までのさまざまな不安が飛んでいきました。とにかく家族のみんなが優しく、アメリカやグレンロックの町のことなどを教えてくれました。

キャンプでは、さまざまな活動が経験でき、あっという間に過ぎた感じでした。

今回、私たちが10日間で学んだ貴重な経験を、日ごろの生活や学習に生かしていきたいです。



ホストファミリーと

近野 千紘

小野中学校2年



キャンプ場でアーチェリー体験

私はサマーキャンプ中学生の翼でアメリカに行くことになり、うれしさや楽しみな気持ちの反面、不安でいっぱいでした。不安だったのは、英語ではっきり気持ちを伝えられるか、食事はしっかりとれるかなどです。でも、ホストファミリーと初めて会ったとき、とても安心して話しました。みんな明るく、たくさん話し掛けてくれてすぐに仲良くなりました。またグレンロックはとてもきれいな町で、楽しい日々が送れました。

後半のキャンプでは、みんな元気で個性豊かな子どもたちがたくさんいてとてもおもしろかったです。

家族やたくさんの方の支えがあったから、この体験ができました。本当に感謝しています。

先崎 ちひろ

小野中学校2年

サマーキャンプでは、いろいろな人と出会い、いろんなことを体験しました。

ホームステイでは、少しの間でホストファミリーと仲良くなりました。ホームステイ先の家の近所の人とも仲良くなれて良かったです。

キャンプ場では、ウオータースキーなどをやりました。初めはうまくいかないこともありましたが、とても楽しかったです。キャビンのスタッフの人や子どもたちとも仲良くなれて良かったです。

初めて体験することが多く、また英語での会話は難しかったけれど、たくさんの方と知り合うことができ、良い思い出をつくることができました。



ホストファミリーと

平野 まどか

小野中学校2年



ホストファミリーと

この研修で私は、さまざまな事を学びました。英語に囲まれている10日間で、私は英語力が上がり、コミュニケーション能力を身につけました。しかし同時に今までとだけ周囲の人々に頼っていたのかを思い知らされる10日間でもありました。特にホームステイでは、友だちがいなくて日本語が恋しくなりました。

この研修での反省は、もっと多くの人とおしゃべりができたのではないかとということです。確かに一定の人とは英語で会話をしましたが、自分から声を掛けることで友だちもできたはず。特にキャンプでは、自分の心がけ次第で話す機会が増えたはず。後悔もありますが、学んだことを将来に生かしていきたいです。

大内田 優香

小野中学校2年

今回、アメリカで過ごした10日間は、私にとってとても貴重な経験になりました。

グレンロック町の町長さんをはじめ町の方やホストファミリーが温かく歓迎してくれたので、安心して研修することができました。とても感謝しています。

印象に残ったのは、国連本部や自由の女神を見学したことです。見るもの聞くものすべてが初めてで、とても勉強になりました。そしてアメリカでの食事はどれもボリュームがあり、驚きました。

ホストファミリーとの自由時間ではゴルフ、ラグビー、野球、だるま落とし、けん玉、折り紙などをしました。

今回の研修で学んだことを将来に役立てていきたいです。



ホストファミリーと(右)

小野中学校2年



ホストファミリーと

初めてのアメリカでのホームステイとキャンプ。最初は楽しみよりも海外で過ごす不安の方が大きかったです。でも実際に行ってみると、みんな優しく接してくれて温かい人たちでした。ホームステイをしている中で、たくさん日本と違う文化を見つめました。特に驚いたことは、ピザの大きさやフライドポテトの量が日本とは比べものにならないくらい多かったことです。他にもアメリカの文化は、日本とはかなり違っていました。言葉が通じ合えないときもありましたが、伝えようとする気持ちが大切だということに気が付きました。そして人と助け合って生きてゆく大切さも学びました。この研修は、私にとっても貴重な10日間でした。

田村 美月

小野中学校2年



ホストファミリーと(右)

私がサマーキャンプ中学生の翼に参加した理由は、自分の英語力を試してみたいということでした。実際にアメリカへ行ってみると必死に伝えようとすれば言葉が多少違ってても伝わることが分かりました。そして、一番感じたのは、人の温かさです。ホストファミリーをはじめたくさんの方が英語でゆっくりと話をしてくれたり、私たちの生活環境を整えてくれました。キャンプ場ではウォータースキーやカヌー、乗馬など素晴らしい体験をたくさんさせてもらいました。このようにアメリカで貴重な経験ができたのは、両親や引率の方々、小野町の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

吉田 陽希

小野中学校2年



キャンプ場で(右)

私は7月28日から8月6日までの10日間、サマーキャンプでアメリカに行きました。私はこの研修に参加して、学んだことが2つあります。1つ目は、ただたどしい英語でも相手の目を見て一生懸命話をすれば伝わるといふ事です。2つ目は、自分の家族の存在です。いつもは何気なく一緒にいる家族ですが、離れてみて私は守られているんだなと思えました。アメリカでもホストファミリーの方に本当の子どもの様に接してもらいたいともうれしかったです。今回、研修の機会を与えてくださった町長さんはじめ小野町の皆さん、両親に感謝して、これからの自分の夢にプラスにしていきたいと思えます。

吉田 萌香

小野中学校2年



ホストファミリーと(前列左)

サマーキャンプは、私にとっても充実した10日間を過ごせたと思います。ホストファミリーとの初対面の時は、すごくドキドキでした。でも想像以上に明るく楽しい家族だったのでホッとしました。それからホストファミリーと過ごした時間はとても楽しかったのですが、英語で表現できない自分いら立ち、少し悔しかったです。でもファミリーは私を理解しようとしてくれました。それがとてもうれしくて、私とホストファミリーは一番「家族」になれたと思います。だから「家族」との別れはとても悲しかったです。キャンプではとてもいい出会いがあり、楽しいスポーツも見つけました。アメリカに行き、将来の夢がまだない私にも何かが見えた気がします。

佐藤 花野

湊金中学校2年



ニューヨーク市内で食事

私は、このサマーキャンプでもとても良い体験をすることができました。私は、飛行機に乗ることも、海外に行くことも初めてだったので、出発する前はとても不安でした。でも、飛行機も怖くなかったし、アメリカでも、団員と一緒に行動していたので不安はありませんでした。アメリカでは、前半がホームステイ、後半がキャンプでした。私は、ホームステイ先の家族と親しくなるか心配でしたが、たくさん話すことができ、またいろいろな場所に連れて行ってもらえて良かったです。キャンプでは、自然の中で思いっきり活動ができました。アメリカでの10日間は、本当に楽しかったです。

村上 奈央

浮金中学校2年

私はアメリカに行く前に、どんなことにも積極的に取り組みたくさんのことを体験するという目標を立てました。そしてホームステイでは、最初はとても緊張していましたが、時間がたつにつれて、聞きたいことを自分で辞書で調べたり、友だちに聞いたりして、しっかり英語で伝えることができました。

またヒルトップキャンプ場では、いろいろなことが体験できて、もっとやってみたい活動もたくさんありました。

今回のサマーキャンプは、10日間と決して長い時間ではなかったのですが、その中で体験したことは、ほとんどが初めてのことでした。本当に貴重な体験ができて良かったと思います。



キャンプ場でウォールクライミング

杉岡 大志郎

小野中学校3年



ホストファミリーと行った海で

僕は、この研修に中学2年のときに行きたいと思っていましたが、インフルエンザの流行で行けなかったため、3年生になってから行くことになりました。そのため英語を少しでも上手に話すことができ、いろいろな事を学べました。たくさんこのことを経験してきましたが、その中でも一番心に残ったのは、ホストファミリーとの別れです。僕はホームステイ中、とても楽しい時間を過ごすことができ、そんなホストファミリーには心から感謝しました。

この経験を通して僕は、見えない所で自分を支えてくれる人たちがいることを学びました。日本においては経験できないことばかりだったので、アメリカに行って本当に良かったと思います。

鈴木 諒

小野中学校3年

自分にとって、アメリカのものすべてが新鮮な体験でした。料理も日本と全く違うもので最初は慣れるのに時間がかかりましたが、アメリカの料理を食べていくうちに慣れていきました。ホームステイでは、子どもたちといろんな遊びをしたり、ホストファミリーの皆さんとも楽しく話すことができました。第二の家族ができたようでした。

キャンプでは、たくさんの人たちがいて、多くの体験と交流ができてとても楽しかったです。この研修を通していろいろな人との交流の大切さを学ぶことができたので、このことを今後の生活に生かしていければいいと思います。



遊園地でホストファミリーと

村上 大輝

小野中学校3年



キャンプ場で乗馬体験

僕は、サマーキャンプ中学生の翼でメイトさん家族にお世話になりました。アメリカに行く前は、英語がうまくできなくて言葉が通じなかったらどうしようかと不安でしたが、そんな不安とは裏腹に、ホストファミリーの方が温かくてすぐに打ち解けることができました。買い物に連れて行ってもらったり、サッカーやゲームなどで遊び、とても親切にしてください、楽しく過ごすことができました。もし機会があれば、ぜひもう一度グレンロック町に行きたいと思います。

先崎 一寿

小野中学校3年

僕は今回のサマーキャンプで、初めて海外に行ってきました。アメリカでは見るものすべてに圧倒されました。ニューヨークはたくさんの人でとてもにぎやかでした。レストランでも、食べられないくらいたくさんのお食事が出てきました。

アメリカでこんなにたくさんのお話を学べたのは、両親や家族、そしてアメリカで僕たちを受け入れてくれたホストファミリーの皆さん、引率の方々、グレンロックの町の皆さん、キャンプ場のスタッフの皆さんのおかげだと思います。

このサマーキャンプで学んだことを、今後しっかりと生かしていきたいと思います。



キャンプ場で乗馬体験

「おのまち町民の翼ー町長と行く韓国の旅ー」参加者募集!!ー奮ってご参加くださいー

町では、福島空港国際便のさらなる利活用を促進するとともに、町民相互の親睦と融和を図ることを目的に「おのまち町民の翼ー町長と行く韓国の旅ー」を実施します。

通常、一般人が立ち入ることのできない軍事境界線(非武装地帯)の見学をはじめ、歴史的・文化的遺産の観光やおいしい韓国料理などがお楽しみいただけます。

また、町長との意見交換の機会もありますので、皆さんの参加をお待ちしています。

- **日 程** 11月29日(月)から12月2日(木)まで 3泊4日
1日目 出発セレモニー、町長との懇親会
2日目 世界遺産「景福宮」、非武装地帯見学など
3日目 ソウル市内観光、世界遺産「水原華城」見学、さよならパーティなど
4日目 正午過ぎ到着
※なお、現地の事情などにより観光日程などが変更になる場合がありますので、ご了承ください。
※ホテルは4つ星クラスです。
- **旅行代金** 69,800円(一人部屋の場合は追加15,000円)
- **募集人数** 30人(最少催行人員20人)
- **募集期間** 9月15日(水)から10月25日(月)まで
※申し込み多数のときは、募集終了後に抽選を行います。
- **応募方法** お申し込みは、住所、氏名、年齢、連絡先をファックス、または電話で下記にお知らせください。

☎企画商工課 72-6938
FAX 71-1037

アナログ放送終了まであと1年!

アナログ放送は、平成23年7月1日からの放送終了のお知らせ画面などの表示を経て、7月24日正午にすべての放送が終了します。それまでの間に、地上デジタル放送を視聴するための準備をしないとテレビを見ることができなくなります。

地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送対応の受信機とUHFアンテナが必要です。受信機は、新たにデジタルテレビを購入するほか、アナログテレビに地上デジタルテレビ用チューナーを取り付ける方法があります。

これらの地デジの準備に当たり、「何をすればよいか分からない」という方や「テレビを買ったのにデジタル放送を受信できない」という方には、デジサポ(総務省テレビ受信者支援センター)がお手伝いします。まずは、デジサポ福島へ電話してください。

また、経済的な理由などで地上デジタル放送に対応できない世帯(非課税の障がい者世帯など)に対しては、簡易チューナーの無償給付などの支援を行っています。詳しくは総務省デジチューナー支援実施センターまでお問い合わせください。

- **問い合わせ先**
☎デジサポ福島 024-505-1010
- **簡易チューナーの無償給付の問い合わせ先**
☎総務省地デジチューナー支援実施センター
0570-033840

第49回敬老会のお知らせ



- **日 時** 9月20日(月) 午前10時から
- **場 所** 小野町多目的研修集会施設 大ホール
※当日は送迎バスを運行します。

敬老祝金は商品券で

町商店街の活性化と個人消費の拡大を図るため、今年度も敬老祝金の全額を商品券で支給します。

- **利用できる期間**
平成22年9月20日(月)から
平成23年3月19日(土)まで
- **利用できる商店など**
当日、お配りする敬老会のしおりに記載されています。
なお、支給金額・商品券は次のとおりです。
▽年齢 75歳以上
▽金額 5,000円

小野町55周年記念こまち湖健康ウォーク・マラソン大会を実施します！

- 趣 旨 自然豊かなこまちダム周辺をウォーク・マラソンを通して健康増進、体力向上および生涯スポーツの普及を目的として開催します。
 - 日 時 10月10日(日)※雨天決行
受付時間 午前8時30分から午前9時まで
開会式 午前9時30分
スタート 午前10時
 - 場 所 こまちダム周辺
 - コ ー ス 3kmコース…こまちダム1周
5kmコース…こまちダム～雁股田永風～こまちダム
7kmコース…同上
 - 内 容 ▼ウォークの部 3kmコース・7kmコース
▼マラソンの部 3kmコース 町内小学5・6年生男女、中学生男女、高校生女子、一般女子
5kmコース 町内高校生男子、一般男子
 - 参加資格 ▼ウォークの部
健康な状態で参加できる方、ウォークマナーを守れる方(居住地を問わない)
※ただし、小学生以下は保護者の同伴が必要。
▼マラソンの部
事前に健康診断を受け異常のない方、中学生・高校生は保護者の承諾を受けた方(町内在住の方)
 - 参加料 無料
 - 表 彰 ▼ウォークの部 完歩した方に認定証を授与
▼マラソンの部 各部門とも6位まで表彰、メダルは1位から3位まで
 - 駐 車 場 こまちダム周辺は駐車場が少ないため、町民体育館駐車場をご利用ください。午前8時30分より町民体育館からシャトルバスを運行します。大会終了後もシャトルバスをご利用ください。
 - そ の 他 ・受付は当日開会式までに済ませること。
・参加者は各自の責任において参加し、無理しないこと。
- ※詳細については、後日折込チラシにてお知らせします。

町民体育館 72-2518

子ども手当の 申請を忘れずに！

平成22年4月から中学校修了前までのお子さんを養育する保護者の方に子ども手当が支給される制度が始まりました。

該当するお子さんがいらっしゃる方は子ども手当の申請が必要となります。

平成22年9月30日までに申請していただければ、平成22年4月分からの手当を受給することができます。

猶予期間を過ぎての申請の場合、さかのぼって手当を受給することはできませんので、まだ申請のお済みでない方は、健康福祉課(公務員の方はお勤め先)まで申請してください。

健康福祉課 72-6934

オンリーワン 一升漬は、我が家の味、みんなの ONLY ONE!

懐かしい家庭の味。私たちの小野町には、長い間、それぞれの家庭で食べ続けられた調味食品「一升漬」があります。何といても、発酵食品で先人の知恵が詰まった食べ物です。皆さんの知恵も加えて、小野町を代表する特産品に作り上げるため、出品をお待ちしています。

- 応募期間 10月18日(月)から10月22日(金)まで
- 応募資格 小野町在住もしくは小野町に通勤、通学する方
- 応募方法 一升漬200g程度をビンやタッパーなどに入れ、思い出やエピソード(任意様式)を添え、ご持参ください。
- 応募先 小野町商工会地域資源開発委員会
「一升漬コンテスト」係 担当 遠藤
☎72-3228 FAX72-3256
- 表 彰 11月7日(日)
小町ふれあいフェスタにて行います。
最優秀賞 1点 賞状 副賞
優秀賞 3点 賞状 副賞
佳作 数点 賞状 副賞
- そ の 他 不明な点は、担当までお気軽にお問い合わせください。

光ファイバでできること

小野町光ファイバ推進協議会
事務局 企画商工課内
72-6939

インターネット編⑧

インターネットのセキュリティ(個人情報を守ろう)

個人情報の保護ってよく言われるけど、そもそも「個人情報」って何かのう？



「個人を特定できる」情報のことを「個人情報」というんじゃないよ。

どんなものが個人情報？

- ①誰かを知ることのできる情報
名前、生年月日、住所、電話番号、住民票コードなど
- ②財産に関する情報
クレジットカード番号、銀行口座番号、暗証番号、パスワード、年収など
- ③その他
病気や悩み事など隠しておきたい情報

こんなものも個人情報にあたります



顔の写っている画像や映像



名刺



病院のカルテ

IDも個人情報になる？

IDはネットワークを利用するための符号で、ネットワーク内での名前のようなものですが、数字・英字などの組み合わせでつくったIDは、それだけでは誰のものか分からないので個人情報ではありません。IDと顧客名簿などを組み合わせることで個人の特定ができる場合は、個人情報になります。たとえば…

- ①プロバイダのログ(通信履歴)と会員情報リストの組み合わせ
- ②お店の顧客コードと顧客名簿の組み合わせなど



インターネットを楽しむとき、どのように個人情報に注意すればいいか考えてみましょう。

メールで注意すること

メールの署名を相手によって使い分ける。
(ネットだけの交流や出会ったばかりの相手には、本名ではなくハンドルネームを使用する。)

CC(カーボンコピー)は、メールアドレスが送信相手全員に表示されるため、**親しい仲間同士以外には絶対に使わない**。名前やアドレスが表示されずに、複数の相手にメールを送ることができる**BCC(ブラインドカーボンコピー)**を使用しましょう。

今回は、「知っておきたいネチケット」をご紹介します。

ホームページで注意すること

【自分のホームページ】

自分や友人・知人の個人情報を公開しない。
掲示板に個人情報の書き込みがないよう管理する。

【よそのホームページ】

自分・他人を問わず、掲示板に個人情報を書き込まない。

アンケートやプレゼントに応募するときは信頼性を確かめる。

住所録もパソコンに入力しておくとも便利じゃが、これも個人情報。取り扱いには注意が必要じゃ。



◆◆◆◆ ふるさと文化の館情報 ◆◆◆◆

☎ ふるさと文化の館 72-2120

*** 丘灯至夫記念館 ***

丘先生の写真を探しています！

丘灯至夫記念館では、小野町出身の作詩家・丘灯至夫先生の写真を集めています。「先生と一緒に撮った写真がある」「先生が写っている写真を持っている」など、お心当たりのある方はふるさと文化の館までお持ちください。皆さんからの貴重な写真をお待ちしています。

例えばこんな写真・・・



昭和40年に「郷土訪問リサイタル」を開催した時の写真



丘先生が小野町を来訪した時に一緒に撮った写真

このほか、
どんな写真でも結構です。

●受付方法

お手持ちの写真をふるさと文化の館までお持ちください。撮影場所や写真に関する簡単なエピソードなどをお聞きし、写真をお預かりします。写真は、一定期間お預かりしてデジタルデータ化した後にご返却します。

なお、詳しくはお問い合わせください。

●受付期間

9月から随時

*** 美術館 ***

小学生・中学生芸術体験講座を開催

小学生・中学生を対象にした芸術体験講座「絵ってなんだろう？ 見ることと描くこと」が8月7日・21日に開催されました。

先生から絵についての話を聞いたりロウソクや段ボール・ローラーなどの道具を使って絵を描いたりしながら、いろいろな「絵の楽しみ方」を学びました。

初めのうちは、今まで知っていた「絵の世界」との違いにとまどっている子どももいましたが、少しずつ慣れてくると先生に質問をしたり用意された絵を興味深そうに見たりしていました。

2回の講座で絵の新しい魅力を発見した子どもたちは、うれしそうにちょっと誇らしそうな表情をしていました。



講座の様子

おのまち夏まつり

おのまち夏まつりが
8月15日、小野新町小
学校校庭において開催
され、町内外から約8,
500人が来場しまし
た。

子ども向けのイベン
トとして、魚つかみや
ミニSL、ストラック
アウトなどが行われ、
にぎやかな声が会場に
広がっていました。ま
た、毎年恒例の小野中
学校吹奏楽部や小町夢
太鼓の演奏のほか、魅
惑のフラダンスショー
や小町雪乃歌謡ショー
も行われ、見ている人
たちを楽しませていま
した。

大きな輪を作り会場
を盛り上げた、メイン
「たかむら踊り」や約
400発が打ち上げら
れた花火大会。眺めて
いる人たちの目には、
小野町の夏のひととき
がしっかりと焼きついて
いるようでした。



魚つかみ



魅惑のフラダンスショー

開会式



ゆかたで写真プレゼント



絵ねぶた



2



1



4



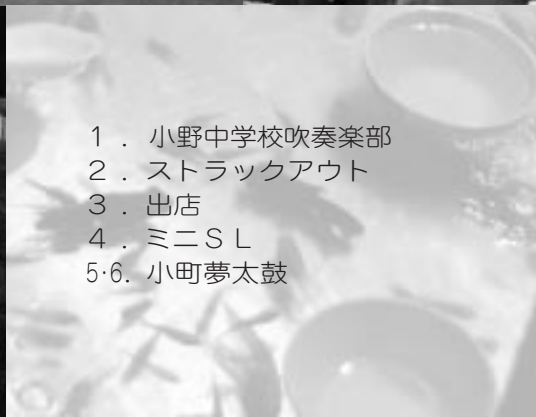
3



6



5



- 1. 小野中学校吹奏楽部
- 2. ストラックアウト
- 3. 出店
- 4. ミニSL
- 5-6. 小町夢太鼓



2



1



4



3



5



6



- 1 . 小町雪乃歌謡ショー
- 2~5. たかむら踊り
- 6 . 表彰式 商工会長賞
(スポーツ民謡協会の皆さん)

公立小野町地方総合病院からのお知らせ③

「こまちダムまつり2010」に参加しました



私たち公立小野町地方総合病院では、病院サービス向上の一環として、地域活動委員会を設置し職員自らが企画し活動しています。このたび、7月31日に開催された「こまちダムまつり2010」に参加し、「まちの保健室」と銘打って多くの来場者に対して、血圧測定や健康相談を行いました。普段から健康管理に気を付けていらつしやる方や、健康診断の結果についての相談など、たくさんの方々に足を運んでいただきました。

地域住民の皆さまが日ごろから健康に関心を持っていることが実感でき、今後このような活動を行い、少しでも健康維持に貢献できるよう努力してまいります。

皮膚科の診療が始まりました

当病院では、8月18日(水)から新たに皮膚科診療を開始しました。

診療日、診療時間は次のとおりです。皮膚病などでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

●診療日

毎週水曜日

●受付時間

▽午前の部

午前8時から正午まで

▽午後の部

午後1時から午後5時まで

●担当医

岡部秀子



小野中学校建設だより

工事の進ちよく状況についてお知らせします。

校舎改築工事については、8月末までに浄化槽を設置したほか、普通教室棟および管理棟の二階部分の躯体コンクリート打設を終え、一部窓枠や間仕切り部の工事を行っています。

屋内運動場(体育館)改築工事については、基礎部の工事に着手しました。引き続き改築工事に対するご協力をお願いします。

☎教育課施設整備室

7216780



現在の様子

小学校施設の耐震補強工事 太陽光発電設備工事

学校施設の使用制限などで不便をお掛けしてきました。飯豊・浮金・夏井第一の各小学校の屋内運動場耐震補強工事並びに太陽光発電設備設置工事が、浮金中学校では太陽光発電設備設置工事がそれぞれ完成しました。

耐震補強工事と併せて改修工事を行っている小野新町小学校については、年度末を完成予定としていますので、引き続き工事に対するご協力をお願いします。

☎教育課施設整備室

7216780



太陽光発電設備工事が完了した夏井第一小学校(上)と浮金中学校(下)



耐震補強工事が完了した飯豊小学校屋内運動場(上)と工事中の小野新町小学校(下)

ふるさと小野町会 ふれあい通信

最近想うこと

吉田 徳一

(夏井出身・神奈川支部)



「ふるさと小野町会に入会して5年になりますが、ふるさとの諸先輩方とお会いし、お話を聞くうちに、次第にふるさとへの想いが強くなってきたような気がします。

これまで老後の生活について、あまり深刻に考えておりませんでした。仕事に追われる毎日、そういう余裕がなかったということもあり、2年後には65歳になります。その辺でひとつの区切りがあるのかなと思ったりしています。退職後、どんな生活になるのか全く見当が付きません。年金だけで生活は不可能

では？と思ったり、それなら思い切り生活を質素にする、そのためには田舎暮らしか？その準備手段として、地域の選定・住居の確保方法・移住後の生活プランなどについて検討しなければなりません。おつくうでもあり興味もあります。

現在、川崎市の集合住宅に住んで都心まで電車通勤しておりますが、朝の満員電車には閉口しています。また、夏場の蒸し暑さからも逃げ出しなくなりそうです。そんな時、夏の間だけでも涼しい地域で過ごせたらと思うことがありますが、サラリーマンの宿命(安給料と仕事)で夢のまた夢とあきらめておりました。しかし、退職後ならどうか？やり方によっては可能ではないかと思うようになりました。もちろん、ふるさと小野町も候補地域のひとつに加えたいと私自身は考えていますが、まだ家族には相談していませんので今のところでは何とも言えません。

2年後を目標に検討してみたいと思います。

国民年金「コ」

老齢基礎年金の額を増やしたい方には「付加年金」という制度があります。

国民年金の第一号被保険者の方(サラリーマンなどの方)とその被扶養配偶者の方は除かれますが、20歳から60歳になるまでの40年間、月額1万5,100円(平成22年度価格)の保険料を納めると、65歳から79万2,100円(月額6万6,008円・22年度価格)の老齢基礎年金が支給されます。

この年金額をもう少し引き上げたいとお考えの方には、「付加年金」という制度が設けられています。

●付加保険料と付加年金の額

付加年金を受けるためには、冒頭の通常の保険料とともに、月額4000円の付加保険料を納めることになっています。

付加年金の額は、「2000円×付加保険料を納めた月数」の式で計算されます。

【例】

付加保険料を5年間(60カ月)納めたときの総付加保険料額の2万4,000円(4000円×60カ月)に対し、65歳から老齢基礎年金と一緒に支給される付加年金の額は年額1万2,000円(2000円×60カ月)となります。つまり、2年間で元金がかえってくるわけです。ただし、付加年金には、「物価スライド制度」などはありません。

一方、付加年金は老齢基礎年金と一緒に支給されるため、繰り上げ支給または繰り

下げ支給したときには、本体の老齢基礎年金と同じ割合で減額または増額されることになります。

●付加保険料を納められる方

自営業者などの国民年金第一号被保険者の方に限られます。

保険料を免除(全部、一部)されている方、国民年金基金の加入員になった方は付加保険料を納められません。

60歳以上65歳未満の方など、国民年金の任意加入者の方も付加保険料を納めることができます。

なお、付加保険料は、納期限を過ぎると納められません。また、口座振替や割安になる前納制度も設けられています。

付加保険料を納付している方は、いつでも任意のときに申し出て、その納付をやめることができますが、その場合でも掛け捨てにはなりません。

付加保険料の手続と相談先は、お住まいの市町村の国民年金の窓口または住所を管轄する年金事務所となっています。

☎郡山年金事務所
024-932-3434
☎町民生活課
72-6933

**平成22年福島県国勢調査
人口予想クイズを実施します**

福島県統計協会および福島県では、本年10月1日に行われる国勢調査に関心を持っていただくため、福島県国勢調査人口予想クイズを実施します。

次の問題に正解もしくは正解に近い方から順番に、上海旅行などの豪華賞品が総勢95人に当たります。ふるって応募ください。

詳しくは福島県のホームページをご覧ください。

●問題

平成22年10月1日に実施される国勢調査の結果、福島県の総人口は何人になるでしょうか。

●応募資格

福島県内在住の方

●応募期間

9月1日(水)～10月24日(日)

●応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記の上、はがきまたはホームページから応募ください。

●応募・問い合わせ先

〒960018670

(住所記載不要)

福島県企画調整部統計分析課内 福島県統計協会 福島県国勢調査人口予想クイズ係
024-5221-7143

HP「ふくしま情報統計ボックス」と検索

**高齢者の就業支援事業の
お知らせ**

社団法人福島県シルバー人材センター連合会では、国の委託を受けて「シニア就業支援プログラム事業」を実施しています。この事業は、高齢者が就業する場合の年金や税についてのセミナー、実際の職場見学・職場体験、有意義な社会参加のためのボランティア体験、また就職のためハローワークと連携して職業相談を行う合同面接会の開催などを総合的に行うもので、**55歳以上の方ならどなたでも参加できます。**

参加費は無料ですが、日程のご案内や資料の送付のため、登録が必要です。登録は左記のシルバー人材センター連合会でを行っていますので、ご連絡ください。登録票が送付されます。

社団法人福島県シルバー人材センター連合会
024-5221-6081

ふくしま多文化共生サポーター登録説明会のお知らせ

福島県国際交流協会では、外国出身県民と地域社会などとの間のパイプ役を担うふくしま多文化共生サポーターの登録説明会を実施します。

●日時

10月30日(土)

午前10時から午後4時まで

●会場

郡山市労働福祉会館 中ホール

●参加費

無料

●対象

延べ20人程度
▽通訳翻訳分野
実用会話程度の外国語(ただし、英語の場合は英検準1級相当以上)と日本語(日本語能力試験N2級相当以上)の二外国語以上が話せる方

▽日本語分野

外国出身者に対して日本語指導の経験がある方

▽国際理解分野

国際理解講座の講師経験者

財団法人福島県国際交流協会
024-524-1315

**郡山地方広域消防組合
ホームページリニューアル
のお知らせ**

郡山地方広域消防組合では、閲覧される方が「見やすく・知りたい情報を探しやすい」ようホームページをリニューアルしました。災害情報も今までと変わらずご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

●主なりリニューアル内容

救急関係の「休日・祝日夜間病院の案内」や「福島県ごども救急電話相談の案内」などを見やすく整理し、トップに配置しました。

●新たにトップページに設けたコンテンツ

▽ファックス199用紙ダウンロード
耳や会話の不自由な方がファックスにより119番通報するための用紙をダウンロードすることが出来ます。
▽避難場所
▽各種申請書ダウンロード
▽講習会・試験案内

郡山地方広域消防組合HP
http://www.shobo.koriyama.fukushima.jp/

024-923-1945

農繁期における火災予防

秋の農繁期を迎え、農作業のため家を留守にする機会が多くなります。

留守家庭などからの出火防止を図るため、次のことに注意しましょう。

●外出前にはコンロなど火の元の確認を忘れずに行いましょう。

特に使用しない電気コードをコンセントから抜くことも大切です。

●屋外での廃棄物の焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されています。事業所や家庭などでは屋外での廃棄物の焼却はやめましょう。

●倉庫、物置、車庫など、人気がない場所は放火されやすいため、施錠をきちんと行いましょう。また、建物の周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

☎郡山消防本部

024-923-8172

日ごろから地震に備えましょう

地震が発生したとき、被害を最小限に抑えるには、日ごろからいざというときのための準備

が必要です。

●備蓄品・非常持出品

▽目安として最低限3日間程度の水や食料品を備蓄しましょう。

▽非常持出品は避難生活に必要なものを持ち出しやすいところに置いておきましょう。

●家庭での防災会議

▽地震発生の時間帯などさまざまなケースを想定し役割などを話し合っておきましょう。

▽室内の危険箇所チェックを行い、家具の固定など安全対策をしましょう。

▽避難場所、避難経路の確認をしておきましょう。

▽家族との連絡方法の確認をしておきましょう。
(NTTの「災害伝言ダイヤル171」、携帯電話の「災害伝言板」などの活用)

☎郡山消防本部

024-923-8173

自殺予防週間および自殺対策強化月間のお知らせ

9月10日から9月16日は、内閣府が定めた自殺予防週間、9月と3月は、福島県が設定した自殺対策強化月間として、予防活動に取り組んでいます。

町では、9月の強化月間に併せて、県中保健福祉事務所との共催で、9月25日(土)に、ヨークベニマル小野プラザ店において、「自殺予防対策キャンペーン」を実施します。
当日、予防啓発資料などの配布を行いますので、皆さんもぜひ一度、この機会に自殺予防や自殺対策について、考えてみませんか。

☎県中保健福祉事務所

0248-175-1781-1

☎健康福祉課

0247-172-6934

福島県立テクノアカデミー 推薦入学試験のお知らせ

受験資格

①平成23年3月高等学校卒業見込みの方

②①以外の社会人などで自己推薦できる方

●募集人員

各課募集定員の70%を上限とします。

▽郡山校

精密機械工学科・組込技術工学科・建築科

▽会津校

観光プロデュース学科・電気配管設備科・自動車整備科

▽浜校

計測制御工学科・機械技術科・自動車整備科・建築科

●出願期間

10月1日(金)から10月8日(金)まで

●入学試験

10月15日(金)

●申し込み・問い合わせ先

☎県庁産業人材育成課

024-1521-17829

「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」参加者募集

財団法人日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。同事業は、先の大戦で父らを亡くした戦没者の遺児を対象として、父らの戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。

本年度は事業実施20周年記念事業として「洋上慰霊」を実施します。参加費は8万円。日程など詳しくはお問い合わせください。

☎財団法人日本遺族会事業課 業係

03-3261-5521

福島県知事選挙

10月14日告示 10月31日投票
一棄権しないで投票しましょう

任期満了(平成22年11月11日)に伴う福島県知事選挙が、10月14日(木)告示、10月31日(日)投票の日程で執行されます。

一人ひとりが選挙のルールを守り、違反のないきれいな選挙に努めましょう。

●選挙人名簿の登録

今回登録される方は、平成22年10月13日を基準日として次の要件を満たした方です。

▽転入

平成22年7月13日までに転入届を済ませ、基準日現在引き続き3カ月以上小野町に居住している20歳以上の方

▽新有権者

平成22年11月1日までに生まれ、基準日現在引き続き3カ月以上小野町に居住している方

●選挙人名簿登録の縦覧

今回登録される方々の名簿を次により縦覧します。

▽縦覧期間

平成22年10月14日の午前8時30分から午後5時まで

▽縦覧場所

総務課内選挙管理委員会事務局
☎72-2111



サポートに感謝します!!

「小野小町ふるさと応援寄附金」に申し込みをいただき小野町をサポートしていただいています。

寄附金を納入いただき、広報紙への掲載承諾のあった方は次のとおりです。

先崎 武さん(神奈川県相模原市)

☎企画商工課 72-6939

平成22年10月1日国勢調査を実施します!!

—9月下旬に国勢調査員があなたのお宅に伺います—

●国勢調査って??

国勢調査は、人口・世帯を明らかにする国の最も重要な統計調査で、日本に住むすべての人・世帯が対象です。

国勢調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役に立てられる大切なデータとなります。10月1日のあなたの状況を調査票に記入し、ご提出ください。

👤 調査票をお届けするのは、総務大臣が任命し、守秘義務が課せられた国勢調査員です。

🔒 調査票に記入していただいた内容は統計の目的以外に使用することはありません。調査票は、外部に漏れないように厳重に管理します。

☎国勢調査コールセンター

(ナビダイヤル) 0570-01-2010

(IP電話・PHSの場合)03-6738-6677

☎企画商工課 72-6938

休日当番のお医者さん

月 日	当 番 医 院	所 在 地	電 話 番 号
9月12日(日)	秋 元 医 院	田 村 市(船 引 町)	82-1514
19日(日)	せ ん ざ き 医 院	三 春 町	61-2777
20日(月)	清 水 医 院	田 村 市(船 引 町)	82-3535
23日(木)	さ い と う 医 院	小 野 町	72-2500
26日(日)	都 路 診 療 所	田 村 市(都 路 町)	75-2003
10月3日(日)	矢 吹 医 院	三 春 町	62-3015
10日(日)	かとうの内科クリニック	田 村 市(船 引 町)	81-1388
11日(月)	博 多 医 院	田 村 市(滝 根 町)	78-2005
17日(日)	東部台こどもクリニック	田 村 市(船 引 町)	81-2580
24日(日)	西 山 医 院	三 春 町	62-2473

* 電話確認の上、受診してください。

詳しくは「福島県総合医療情報システム」HPをご覧ください。

福島県総合医療情報システム

検索



バーコード認識機能で、携帯電話から「福島県総合医療情報システム」をご覧ください。

* こども救急電話相談(毎日、午後7時~翌午前8時)

プッシュ回線・携帯電話からは#8000

アナログ回線からは024-521-3709

詳しくは「こどもの救急について」HPをご覧ください。

福島県 こどもの救急

検索



お誕生おめでとう

氏名	父・母	行政区
生天目虹美(ななみ)	稔光・泉	仲町
高橋心優(みゆ)	秀和・祥恵	反町
佐藤瑠愛(るあ)	隆二・亜美	谷津作
草野杏果(きょうか)	正道・知子	皮籠石
先崎志帆(しほ)	敦・麻衣	吉野辺
遠藤弥武(ひろむ)	武典・幸子	浮金
草野真汰(まなた)	俊二・歌織	上羽出庭
駒木根怜奈(れな)	正史・奈津子	上羽出庭

(7月届出分)

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	行政区
村上トメコ	86	飯豊上
柏原トメヨ	93	飯豊下
長尾クラノ	87	浮金
新田孝	71	浮金
藁谷トミヨ	96	夏井
長久保昭男	76	湯沢

(7月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。

小野町の人口

平成22年8月1日現在

人口	11,209人(△31)
男	5,441人(△12)
女	5,768人(△19)
世帯数	3,726世帯(+1)

()内は前月との増減

福島県現住人口調査結果から

町税等納期のご案内

税目	期別	納期限
国民健康保険税	3期	9月30日(木)
介護保険料	3期	
後期高齢者医療保険料	2期	

- 納め忘れのないように、ご確認ください。
- 納期内納入にご協力をお願いします。

行事カレンダー

月日	行事名
9/ 16 (木)	グ 小学校陸上記録会
17 (金)	
18 (土)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
19 (日)	役 休日窓口業務実施日(8:30~17:15)
20 (月)	●敬老の日 研 第49回敬老会
21 (火)	●秋の全国交通安全運動(~30日) 子 あそびの広場(9:30~11:30)
22 (水)	役 窓口業務延長(19:15まで)
23 (木)	●秋分の日
24 (金)	研 ヘルスアップ運動教室(13:30~15:30)
25 (土)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
29 (水)	母 ころの相談室(13:00~15:00) 役 窓口業務延長(19:15まで)
30 (木)	ふ ふるさと文化の館図書館館内整理日(休館) 海 海洋センタープールクローズ
10/ 1 (金)	
2 (土)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
6 (水)	役 窓口業務延長(19:15まで)
7 (木)	母 離乳食教室(受付10:00~10:15) 母 人権相談所開設(10:00~15:00)
8 (金)	母 ヘルスアップ運動教室(13:30~15:30)
9 (土)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
10 (日)	こ こまち湖健康ウォーク・マラソン大会
11 (月)	●体育の日
12 (火)	子 あそびの広場(9:30~11:30)
13 (水)	母 ころの相談室(13:00~15:00) 役 窓口業務延長(19:15まで)
14 (木)	母 3歳児健診(受付13:00~13:30)
15 (金)	

研 多目的研修集会施設	役 役場	子 子育て支援センター
母 母子健康センター	海 海洋センター	ふ ふるさと文化の館
グ 多目的グラウンド	こ こまちダム	体 町民体育館

***** 上水道加入の皆さんへ *****

7月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。 ☎ 地域整備課 72-6936

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	6.6mg/l
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	<0.000001mg/l
2-メチルインボルネオール	0.00001mg/l以下	<0.000001mg/l
有機物(TOC)	3mg/l以下	0.7mg/l
PH値	5.8~8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	<1度
濁度	2度以下	<0.1度



和紙ちぎり絵展 —四季の彩り—

小野町在住の和紙ちぎり絵作家・郡司茂子さんの作品展です。

和紙ちぎり絵は手すき和紙を素材にして、ちぎる・はぐなどした和紙をのりで貼って作品を作っていきます。その作品はどれも、一見すると絵画を見ているように感じられます。また、どの作品からも和紙独特の柔らかくて温かな雰囲気が出てきます。

ぜひ、皆さんそろってご覧ください。

- 場 所 ふるさと文化の館 美術館
- 会 期 9月25日(土)から
10月11日(月)まで
午前9時から午後5時まで
- 休館日 9月27日(月)、10月4日(月)
- 入場料 無料

ワークショップのご案内

美術展の会期中に、和紙ちぎり絵のワークショップを開催します。かわいいミニ色紙を作りますので、この機会にぜひご参加ください。

- 開催日 10月3日(日)
午後1時30分から午後3時30分まで
- 参加費 1人 600円
- 定 員 小学生から大人まで 20人
- 申込方法 ふるさと文化の館までお申し込みください。
- 申込締切 9月20日(月)

※受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。詳しくはお問い合わせください。

ふるさと文化の館 72-2120

あ と が き

今年の夏は全国的な猛暑で、体調を崩された方も多かったようですが、皆さんは大丈夫でしたか。
9月になってまだまだまだ暑さは収まらず、いつになったら涼しくなるのだろうか、秋が待ち遠しい限りですが、日に日に涼しくなる風や、少しずつ高くなる空、黄色く色づく田んぼは、もう秋がすぐそこまでやってきていることを教えてくれているようです。(か)